

熊本市西区の崇城大で10日、コンピューターゲームの腕前を競うeスポーツ大会が開かれ、任天堂の格闘対戦ゲーム「大乱闘スマッシュブラザーズ」で60人が熱戦を繰り広げた。

学園祭「井芹祭」の催しの一つで、eスポーツの普及や学生との交流などを目的に、井芹祭実行委員会が初めて企画。申し込み開始当日に出場枠が埋まる人気だったという。

大会は3人1チームで対戦。2戦先勝のトーナメント方式で行われ、ゲーム仲間でつくる「ゲームサカバ」が優勝した。リーダーの日高優夏さん(26)は熊本大大学院2年。Ⅱは「普段はオンラインだけでなく、面と向かって対戦できるのも魅力」と話した。

会場となった大講義室S。LAホールには大型スクリーンが用意され、約130人が観戦に訪れ、技が決まると、

e スポーツ 白熱バトル

大型スクリーンで観戦

崇城学園祭

大きな歓声や拍手が沸いた。井芹祭実行委の中村和幸委員長(工学部3年)は「eスポーツの反響に驚いた。来年もぜひやりたい」と笑顔だった。大会の様子は動画投稿サイト「ユーチューブ」に掲載される予定。(上田良志)



約130人が大型スクリーンで観戦する中、熱戦が繰り広げられる「井芹祭」のeスポーツ大会は熊本市西区